

身近な「憧れの世界」、乗馬を体験してみよう

in 鶴見緑地
乗馬苑

花博記念公園鶴見緑地内にある鶴見緑地乗馬苑は、アクセスしやすい大阪市内に位置しながら、全国でも有数の充実した施設と、緑に囲まれた広大な敷地を誇る乗馬施設です。まさに都会のオアシスのような趣きの開放的な空間には、四十頭以上の馬が飼育され、小さな子どもからお年寄りまで、たくさんの方々が乗馬を楽しんでいます。どこか敷居の高さを感じさせる乗

馬ですが、実はライフスタイルや体力、年齢に応じて、幅広い楽しみ方があるスポーツです。健康維持や体力作りはもちろん、近年ではアニマルセラピーなど、癒しの効果も注目を集めています。今回は鶴見緑地乗馬苑のスタッフさんや会員の方々に、乗馬の楽しさ、馬の魅力、乗馬苑の特徴について、うかがいました。



口ヶ地／鶴見緑地 乗馬苑

かわいい馬に魅せられて、今や共同オーナーに。

奥真里子さん（50代）



乗馬歴三年の奥真里子さんが、乗馬をはじめたきっかけは、北海道旅行で初めて馬に靠近で接したからだそうです。「大人しくて頭も良く、人懐っこい。何より澄んだ瞳がたまらなく可愛くて、それ以来、馬の虜になりました」。その後すぐに鶴見緑地乗馬苑に入会された奥さん。今では、週に四回通われ、共同所有で自身の愛馬もお持ちで

す。「馬は、丁寧にケアしてあげると、体に傷もつかず、すごく綺麗に育ってくれるんです。今では雨が降ったりして一日会えないだけで、心配でたまらなくなるほど大切な存在です」。もともと、日本舞踊をされていた奥さんですが、膝を悪くしてリタイアされた後、「ニースや水泳を試してみましたが、長続きしなかったそうです。「でも、乗馬は自然な動きが多くて、適度な運動にもなるので、楽しく続けられています」という奥さん。悪かった膝もいつの間にか良くなったそうです。今後も、モットーである「美しく・静かに・丁寧に」馬に乗ることを心がけながら、百歳まで続けたいと語ってくれました。



お父さんみたいに走りたい！
親子で乗馬！

野口 隆雄（40代）・和奏さん（9歳）

鶴見緑地乗馬苑には、親子で通っている方もいらっしゃいます。週に三回レッスンに通っている野口隆雄さんは、「鶴見緑地が地元なので、子どもの頃からこの鶴見緑地乗馬苑での乗馬に憧れていました。実際に乗つてみると、とにかくすがすがしい気持ちになれて、馬に乗るたびに元気をもらいます」と話してくれました。コースに設置された障害を馬に乗つて飛び越える技術を競う、障害馬術の大会にも出場し、「今の年齢になって、仕事以外でチャレンジ出来ることはな



かなかありません。自分がどこまでできるかを試したいですね」と、大きなやりがいを感じながら、前向きに取り組んでおられます。そんなお父さんについて、昨年から乗馬を始めた娘の和奏ちゃん。はじめは鶴見緑地乗馬苑で体験できる、ポニーの曳き馬などから徐々に乗馬に慣れ、現在では一人で色々と乗りこなせるようになります。当面の目標は、お父さんのように、馬場をスピード一気に疾走することなのだと。練習後も楽しそうに場内でくつろぐ姿が、とても印象的な仲良し親子でした。

